



Bu-Bu ほけんだより 3月号

令和8年 2月24日
ふじさん Bu-Bu 保育園
看護師 荻野 いずみ

ばんそうこう はる？はらない？

春が近づき、戸外あそびも増えてきました。元気に体を動かす中で、すりきずや小さなケガが増える季節でもあります。

「このくらいの傷ならばばんそうこう貼る？貼らない？」ご家庭でも迷うことはありませんか？

今月は、きれいに治すためのケガの手当てについて、イラストや〇×クイズでわかりやすくお伝えします。

＊まずはここから！応急手当の基本

先日、日本赤十字社の幼児安全法支援員養成講習を受講してきました！

子どものケガへの対応や応急手当の基本を、改めて学び直す機会となりました。



今回のイラストは、その講習内容やテキストをもとに作成しています。ご家庭でも参考にしていただけたらうれしいです。

お家でできる！ お子さまのケガへの応急手当ガイド

お子さまがケガをした際、家庭で慌てずに対応するための4つのステップと、きれいに治すための大切なポイントをまとめました。

1 優しく声をかけて安心させる

優しく声をかけて安心させる
「痛かったね、大丈夫だよ」と声をかけ、お子さまの心を落ち着かせましょう。

2 傷口とお子さまの様子を観察する

傷口とお子さまの様子を観察する
傷の深さや汚れ、顔色などを落ち着いて確認することが大切です。

3 流水でしっかり洗い流す

流水でしっかり洗い流す
水道水などのきれいな流水を使って、傷口の汚れを丁寧に洗い流します。

4 止血をして優しく保護する

止血をして優しく保護する
清潔な布で圧迫して血を止め、大きめの絆創膏などで傷口を保護しましょう。

きれいに治すためのポイント

水洗いで「体の治る力」をサポート
体が本来持っている治癒力を活かすため、消毒液よりも水洗いを優先しましょう。

絆創膏の様子をこまめに見守る
小さなお子さまが絆創膏をはがして口に入れないよう、見守ってあげてください。

© NotebookLM

＊ばんそうこう はる？はらない？ ○×

絆創膏を貼るか迷うことはありませんか？乳児の皮膚はとても薄くデリケート。

実は貼らないほうがよい場面もあります。〇×でチェックしてみましょう。

少し血がにじむ程度	ちょっと赤くなっただけ	お風呂に入る前	じゅくじゅくした傷
眼にこすれやすい場所はばんそうこうで保護すると安心	皮膚が切れていなければ、冷やして様子を見るだけで◎	ふやけると菌が入りやすくなります。入浴前にはがしましょう	炎症のサインのことがあります。密閉せず、症状が続く場合は受診も検討しましょう。